

# 平成23年度 事業報告書

# 目 次

<b>I 事業総括</b>	1
<b>II 事業報告</b>	
1 調査啓発事業	2
2 不燃用プリペイド袋リサイクル 事業	3
3 資源化事業	4
(1) 剪定枝等処理事業	4
(2) びん・缶・ペットボトル選別事業	5
(3) 施設管理受託事業	7
① ごみ資源化工場施設管理事業	7
② 中沼プラスチック選別センター施設管理事業	9
③ 中沼雑がみ選別センター施設管理事業	11
④ 札幌市リサイクル団地管理事業	12
(4) 大型ごみ収集センター管理運営事業	13
4 事業系ごみ収集運搬事業	14

# I 事業総括

一般財団法人札幌市環境事業公社は、札幌市の都市環境の維持・保全に資する資源循環型社会の推進を図ることを基本理念に、札幌市の廃棄物処理行政の一翼を担う法人として、事業系ごみを中心に廃棄物の安定的かつ効率的な適正処理を図るとともに、これらの廃棄物のリサイクルを推進するための多分別収集に向けた取り組みにおいて、中核的な役割を果たしている。

公社が行っている事業は、調査啓発事業、不燃用プリペイド袋リサイクル事業、剪定枝等処理事業、びん・缶・ペットボトル選別事業、ごみ資源化工場施設管理事業、中沼プラスチック選別センター施設管理事業、中沼雑がみ選別センター施設管理事業、札幌市リサイクル団地管理事業、大型ごみ収集センター管理運営事業、事業系ごみ収集運搬事業の10の事業となっている。

その中でも事業系ごみ収集運搬事業は、札幌市内全域で3万件を超す事業所が排出する一般廃棄物等の収集運搬を一元的に行っており、16万8千tの事業系ごみを的確に収集運搬した。併せて、各事業者に対して、ごみ減量・リサイクル推進に向けた普及啓発を積極的に展開し、平成23年度は、生ごみリサイクルの取組みとして、25,072tを飼料や堆肥の原料として分別収集したのをはじめ、資源化ごみで11,580t、不燃用プリペイド袋リサイクルで2,424t、びん・缶・ペットボトルで1,844t、剪定枝で118tの分別収集を行った。

その結果、前年度比2.0%（容積比）のごみの減量と、平成23年度ごみ総収集量に対するリサイクルごみ収集量で算出するリサイクル率は前年度より1.1ポイント増加して24.4%と札幌市が定めた「スリムシティさっぽろ計画」の重点施策である事業者による自主的な資源化の促進に大いに貢献した。

一方、当社が札幌市から施設管理及び選別業務等を受託している家庭系の「びん・缶・ペットボトル」は34,041t、「容器包装プラスチック」は29,721t、「雑がみ」は13,696tの処理を行った。「雑がみ」は前年度比36.4%の減少となったが、これは平成23年4月から「雑がみ」の分別ルールの変更により、新聞・雑誌・ダンボールを「雑がみ」から除外し、集団資源回収または回収拠点へ出すことになった影響が大きい。

平成23年度における事業を総括すると、長引く景気低迷に加えて、東日本大震災の影響などから、排出事業者におけるごみ処理経費の削減が進んだことなどにより、ますます厳しい経営環境での事業を余儀なくされたが、各部門での経費縮減等の努力により、当初計画に比べ収支状況が改善し、安定した事業運営ができた。また、本年度の大きな目標であった、一般財団法人移行に係る所要の手続きを無事に完了することができた。

平成24年度は、更なるごみ量の減少に加え、平成25年1月の札幌市から焼却・埋立手数料の改定が決定しているなどより厳しい環境での事業運営が想定されることから、安定経営の維持に努めるとともに事務・事業の見直し及び経費の節減の徹底を図り、事業の在り方や収集運搬料金の設定の見直しなど収支改善に向けた検討を行う。また、将来の公益法人化に向けて、新公益法人制度との整合を図りながら、当社が担う社会的役割に相応しい体制について、さらに検討を深めていく必要がある。

## Ⅱ 事業報告

### 1 調査啓発事業 (決算額 39,213,365 円)

#### (1) 調査研究事業

##### ① 資源ごみの組成・形状調査等

家庭ごみ有料化に伴う資源ごみの収集量や形状変化など施設への影響が懸念されたことから、びん・缶・ペットボトル、容器包装プラスチックの組成調査を実施した。

平成 23 年度は、資源ごみの組成については従前の傾向と大きな差異はなかったものの、収集量は、有料化実施前の平成 20 年度と比較し、びん・缶・ペットボトル（家庭系）は 21%増加、容器包装プラスチックは 36%増加している。

その他、固形燃料(RDF)の組成及びダイオキシン類の分析、雑がみの組成分析、各施設のボイラーばい煙、騒音等の測定を実施し、そのデータについて集積した。

##### ② ごみ重量計量システムの実証実験

重量計量システムを搭載した収集車両の計量精度の検証及び排出者毎のごみ重量データの収集・蓄積を行う実証実験のうち、平成 23 年度は、データ収集の準備として、架装メーカーと当会社のシステムのデータを連結させるための携帯端末のシステム開発及び通信試験を実施した。

平成 24 年度についても、引き続き実証実験を継続し、ごみ重量データの蓄積を行う。

#### (2) 普及啓発活動

市民や顧客に、ごみ減量及びリサイクル、公社事業の理解促進についてホームページや各種イベントにより普及・啓発を行った。

##### ① 公社事業概要等の発行

i) 公社の事業方針、事業内容及び実績を取りまとめた「事業概要」250部を平成 23 年 8 月に発行し関係機関や市民に配布した。

ii) ホームページを適宜改定し、公社事業の最新情報を発信した。

iii) 排出事業者のごみの分別やリサイクルに関する取組みとリサイクル施設の紹介を掲載した情報誌「アンパス第 10 号」8,500部を平成 24 年 2 月に発行し、顧客や市民に配布した。

iv) ごみ減量及びリサイクルの推進を図るため、各雑誌・新聞等による広報を行った。

v) 一般財団法人移行に向け公社事業のあらましを取りまとめた「事業案内」最新版 2,000部を作成した。

##### ② 各種イベントへの参加

i) 環境ビジネスの発展や市民に対する環境意識の向上を目的としたイベント「環境広場さっぽろ 2011」に出展し、公社事業の紹介を行った。

ii) 「第 20 回 YOSAKOI ソーラン祭り」、「第 58 回 さっぽろ夏まつり」、「ミニさっぽろ 2011」、「かんきょうみらいカップ 2011」、「第 32 回 すすきの氷の祭典」、「第 10 回 ミュンヘン・クリスマス市」、「第 63 回 さっぽろ雪まつり」等のイベントに協賛した。

##### ③ 見学者の施設案内

一般市民へのごみの適正処理やリサイクルの普及活動として各施設への見学者を受け入れている。平成 23 年度は、市内の小学 4 年生で「ごみ・リサイクル」を学習するカリキュラムの見学者を含めて 6,876 名の見学者を案内した。

## 2 不燃用プリペイド袋リサイクル事業 (決算額 48,822,304 円)

平成21年4月より、当会社の自主事業として札幌市内の少量排出事業所から排出される不燃用プリペイド袋に混入しているびん・缶・ペットボトルなどを選別し、リサイクルを推進している。

### (1) 処理実績

平成23年度は、計画量2,470 tに対して、2,424 tの不燃用プリペイド袋を受け入れし、20%に当たる496 tのびん・缶・ペットボトルなどを選別してリサイクルを行った。

不燃用プリペイド袋に混入しているびん・缶・ペットボトルは選別後、リサイクル業者に引き渡し、一斗缶等のその他金属は業者へ売却、ビニール類等の軟質系プラスチック類は固形燃料の原料として再資源化を図った。残さ物は、清掃工場やごみ埋立処分場に運搬している。

【表2-1 平成23年度 不燃用プリペイド袋処理実績表】

	運転日数 (日)	受入量 (t)	搬出量 (t)					
			資源物			残さ		
			びん・缶・ ペット	その他 金属	プラス チック類	可燃物	破碎	不燃物 残さ
4月	21	207	28	9	3	167	7	5
5月	22	195	29	9	2	150	7	7
6月	22	206	29	7	5	159	9	7
7月	21	197	27	7	5	162	5	0
8月	23	213	33	8	7	169	5	7
9月	22	198	29	7	9	157	7	7
10月	21	187	24	6	9	153	5	8
11月	22	200	26	8	10	154	2	0
12月	22	234	25	7	12	161	8	7
1月	20	195	24	7	9	153	5	7
2月	21	189	24	6	9	141	3	0
3月	22	203	24	4	9	155	4	7
合計	259	2,424	322	85	89	1,881	67	62

### 3 資源化事業 (決算額 952,036,491 円)

#### (1) 剪定枝等処理事業 (決算額 59,338,485 円)

平成20年10月から実施している当社の自主事業で、公園や街路樹等から発生した剪定枝、伐採木等を破碎して、リサイクル業者及び酪農家に販売し、堆肥や畜舎の敷きわら等に利用されている。

##### ① 処理実績

平成23年度の剪定枝等受入量は、計画量4,600tに対して6,732tと前年度に比べて25.8%増加した。受け入れた剪定枝等は、篠路資源化センターのチップ工場破碎施設で約45mmの大きさにチップ化された。

剪定枝等チップの出荷量は、計画量4,500tに対して5,710tで、堆肥製造業者などに出荷した。

【表3-1 平成23年度 剪定枝等処理実績表】

	運転日数(日)	剪定枝受入量(t)	出荷量(t)
4月	8	330	319
5月	7	320	253
6月	15	546	341
7月	17	912	472
8月	15	677	522
9月	15	963	591
10月	16	1,125	521
11月	16	588	555
12月	15	554	560
1月	10	113	486
2月	12	280	548
3月	11	324	542
合計	157	6,732	5,710

##### ② 計量業務

剪定枝等の搬入者から受入料金、及びリサイクル業者等への販売料金を徴収する業務を行った。

###### i) 計量受付台数

ア 剪定枝等受入分	7,019 台	〔 一般廃棄物 : 6,100 台 産業廃棄物 : 919 台 〕
イ チップ出荷分	1,153 台	

(2) びん・缶・ペットボトル選別事業 (決算額 767,735,655円)

札幌市が平成10年10月から、分別収集を開始している家庭系のびん・缶・ペットボトルと、当公社が収集している事業系のびん・缶・ペットボトルの選別を行うため、中沼資源選別センターと駒岡資源選別センターで、これら資源物の選別業務を札幌市からの受託事業及び自主事業として実施している。

中沼資源選別センターでは、札幌市が平成21年7月から「燃やせるごみ・燃やせないごみ」を有料化したことで、増加傾向となった家庭系資源物に対応するため、二交代制による運転を実施するとともに、繁忙期においては、搬入量などについて中沼と駒岡の両資源選別センターで調整を図りながら運転することで、資源物のより効率的な処理を行っている。

平成23年度の資源物の全体受入量は、計画量37,000tに対し36,206t(家庭系34,041t、事業系2,165t)であり、選別搬出された資源物は全体計画量34,300tに対し、びん類10,443t(白びん4,000t、茶びん3,658t、その他びん2,785t)、缶類6,879t(アルミ缶3,352t、スチール缶3,527t)、ペットボトル6,812tであった。

選別された資源物は、次のようにリサイクルを図った。

- ① びん類については、白・茶・その他びんとも、家庭系(市)のものは指定法人ルートで再商品化事業者、事業系(公社)のものは、リサイクル事業者へ引き渡し、それぞれ再生利用を図った。
- ② 缶類については、家庭系(市)及び事業系(公社)ともに、リサイクル事業者へ引き渡し再生利用を図った。
- ③ ペットボトルについては、家庭系(市)のものは指定法人ルートで再商品化事業者、事業系(公社)のものはリサイクル事業者へ引き渡し再生利用を図った。

なお、駒岡資源選別センターの手選別業務については、知的障がい者に雇用の場を提供するために福祉団体に業務を委託している。

【表3-2 平成23年度 びん・缶・ペットボトル選別センター選別実績総括表】 (単位:t)

	受入量			搬出量									
	札幌市	公社	計	びん類				缶類			ペット ボトル	可燃物 (袋類)	不燃物 残さ
				白	茶	その他	小計	アルミ	スチール	小計			
4月	2,589	173	2,762	319	292	187	798	245	270	515	511	311	408
5月	2,745	179	2,924	335	311	199	845	273	329	602	535	367	445
6月	2,879	184	3,063	332	307	199	837	288	292	580	582	352	459
7月	2,813	191	3,003	319	308	189	817	274	284	559	611	363	417
8月	3,319	220	3,539	322	321	158	800	327	285	612	732	378	482
9月	2,758	192	2,950	331	317	188	836	311	305	616	669	390	460
10月	2,512	173	2,686	318	308	222	848	269	285	554	589	408	350
11月	2,773	171	2,944	322	287	247	857	264	269	533	505	456	235
12月	2,982	190	3,172	383	303	305	991	281	319	600	547	570	255
1月	3,107	164	3,272	368	317	375	1,060	305	302	607	524	565	270
2月	2,833	159	2,992	308	281	237	826	242	252	494	471	484	225
3月	2,731	170	2,901	342	307	280	928	271	335	607	537	555	257
合計	34,041	2,165	36,206	4,000	3,658	2,785	10,443	3,352	3,527	6,879	6,812	5,197	4,265
比率	94.0	6.0	100.0	11.9	10.9	8.3	31.1	10.0	10.5	20.5	20.3	15.5	12.7

※数値の小数点以下を四捨五入としたため、合計数値とその内訳の計とが一致しない場合がある。

【表3-3 平成23年度 びん・缶・ペットボトル選別センター別選別処理実績表】

中沼資源選別センター

	運転 日数 (日)	受入量(t)			搬出量(t)									
		札幌市	公社	計	びん類				缶類			ペット ボトル	可燃物 (袋類)	不燃物 残さ
					白	茶	その他	小計	アルミ	スチール	小計			
4月	21	1,695	136	1,831	216	199	110	525	168	185	353	349	238	209
5月	23	1,792	139	1,931	223	208	130	561	188	227	415	362	293	216
6月	24	1,952	142	2,093	235	217	126	578	190	206	396	401	277	219
7月	25	1,864	139	2,004	216	211	126	553	196	198	394	427	291	208
8月	29	2,353	161	2,514	227	228	96	550	227	199	426	508	300	253
9月	27	1,833	137	1,970	228	215	130	573	205	213	418	459	307	200
10月	27	1,728	128	1,856	232	226	158	615	191	202	392	422	345	161
11月	24	1,846	132	1,978	226	201	172	599	179	183	362	348	389	25
12月	27	2,067	148	2,215	273	217	235	724	203	233	437	392	500	27
1月	27	2,218	128	2,346	274	235	286	795	219	216	435	382	496	20
2月	22	1,878	121	2,000	221	194	167	582	163	174	337	323	419	26
3月	26	1,825	134	1,959	236	219	210	665	192	239	431	386	487	37
合計	302	23,051	1,645	24,696	2,808	2,569	1,945	7,321	2,322	2,474	4,796	4,758	4,342	1,600
比率	-	93.3	6.7	100.0	12.3	11.3	8.5	32.1	10.2	10.8	21.0	20.9	19.0	7.0

※数値の小数点以下を四捨五入としたため、合計数値とその内訳の計とが一致しない場合がある。

駒岡資源選別センター

	運転 日数 (日)	受入量(t)			搬出量(t)									
		札幌市	公社	計	びん類				缶類			ペット ボトル	可燃物 (袋類)	不燃物 残さ
					白	茶	その他	小計	アルミ	スチール	小計			
4月	22	894	37	931	104	92	77	273	77	85	162	162	73	199
5月	24	953	41	994	111	103	69	283	85	102	187	173	74	230
6月	24	927	42	969	96	90	72	259	97	86	183	181	75	240
7月	23	948	52	1,000	103	97	63	264	78	86	165	184	72	210
8月	26	967	58	1,025	95	93	62	250	100	86	186	224	77	230
9月	25	925	54	980	103	101	58	263	106	92	198	210	84	260
10月	21	784	46	830	87	83	64	234	78	83	162	166	64	189
11月	22	927	39	965	96	86	76	258	85	87	172	157	67	210
12月	24	915	42	957	111	86	70	267	78	86	164	155	70	228
1月	22	889	37	926	94	82	89	264	86	86	172	142	69	250
2月	22	955	37	992	87	87	70	244	79	78	157	148	65	199
3月	23	906	36	942	105	89	69	263	80	96	176	151	67	220
合計	278	10,990	520	11,510	1,192	1,090	840	3,122	1,030	1,054	2,084	2,054	855	2,665
比率	-	95.5	4.5	100.0	11.1	10.1	7.8	29.0	9.6	9.8	19.3	19.1	7.9	24.7

※数値の小数点以下を四捨五入としたため、合計数値とその内訳の計とが一致しない場合がある。

(3) 施設管理受託事業 (決算額 107,426,813 円)

平成23年度は、札幌市の4施設の施設管理(総括管理)業務を受託し、同市のごみ処理計画及び運転・運搬計画等に基づき、次の事業を実施した。

① ごみ資源化工場施設管理事業 (決算額 52,717,537 円)

ごみ資源化工場の運転・運搬業務、定期整備などの施設運營業務の監督等の管理業務、及び搬入ごみの計量業務を含む施設の運営全般を管理する「ごみ資源化工場施設管理業務」を札幌市からの受託事業として実施した。

ごみ資源化工場は、札幌市の一般廃棄物処理実施計画に基づき、主に事業系の木くず、紙くず、廃プラスチックを選別破碎後、圧縮成形して固形燃料を生産している。

i) 処理実績

平成23年度のごみ受入量は、木くず・紙くず・廃プラスチック・雑がみ残さ共に減少傾向を示し、計画量24,300tに対して21,720tと、前年度に比べ14.7%減少した。受入量の内訳は、木くずが2,289t、紙くずが12,485t、廃プラスチックが986t、雑がみ残さが5,960tであった。

固形燃料の出荷量は、計画量21,000tに対して出荷量は19,229tであった。また、生産した固形燃料は、全量を北海道地域暖房㈱に出荷した。

ii) 計量業務

ごみ資源化工場に搬入されるごみの計量と手数料の徴収などを行った。

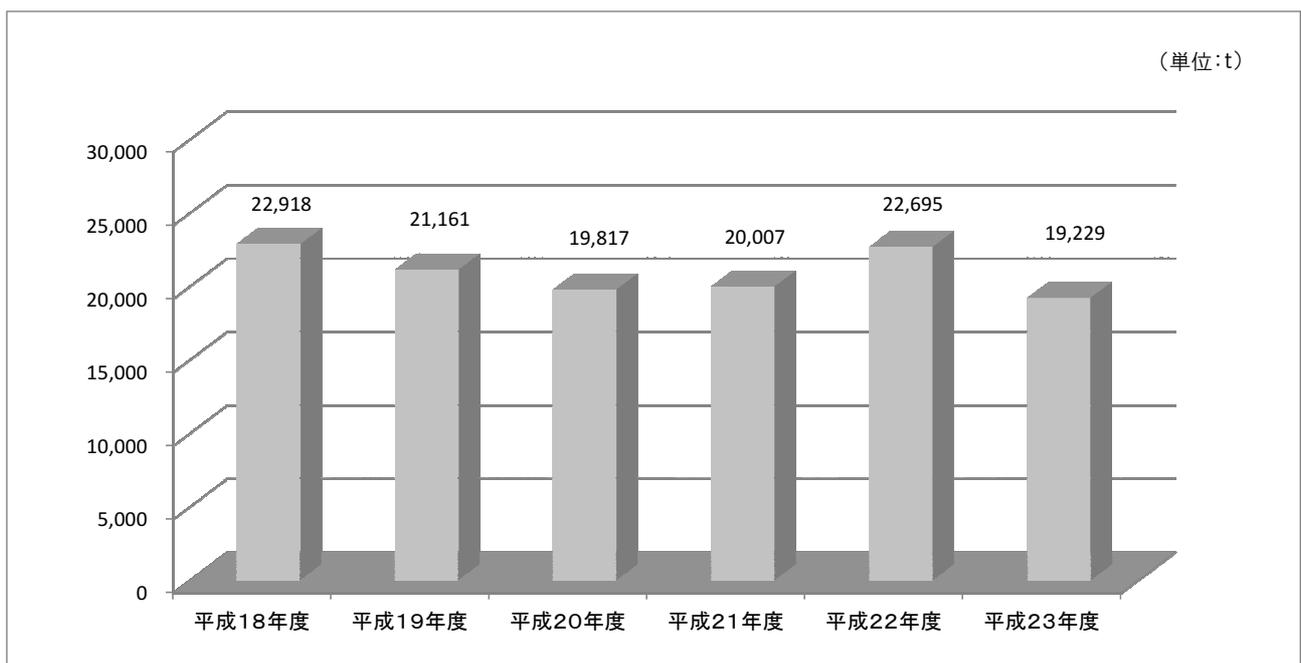
ア 計量受付台数

・ごみ受入分	15,699 台	〔 一般廃棄物： 14,158 台 産業廃棄物： 1,541 台 〕
・固形燃料出荷分	2,129 台	
・残さ搬出分	579 台	

【表 3-4 平成 23 年度 ごみ資源化工場処理実績表】

	運転日数(日)	ごみ受入量(t)	固形燃料出荷量(t)
4 月	26	2,109	2,763
5 月	23	1,767	1,568
6 月	24	1,752	1,237
7 月	24	1,774	1,066
8 月	25	1,823	946
9 月	25	1,817	361
10月	18	1,747	1,273
11月	15	1,738	1,587
12月	26	1,980	2,324
1 月	24	1,610	2,033
2 月	25	1,505	2,023
3 月	27	2,098	2,048
合計	282	21,720	19,229

《グラフ 3-1 年度別固形燃料出荷量》



② 中沼プラスチック選別センター施設管理事業 (決算額 26,830,054円)

平成20年10月より、札幌市から「中沼プラスチック選別センター施設管理業務」を受託し実施した。

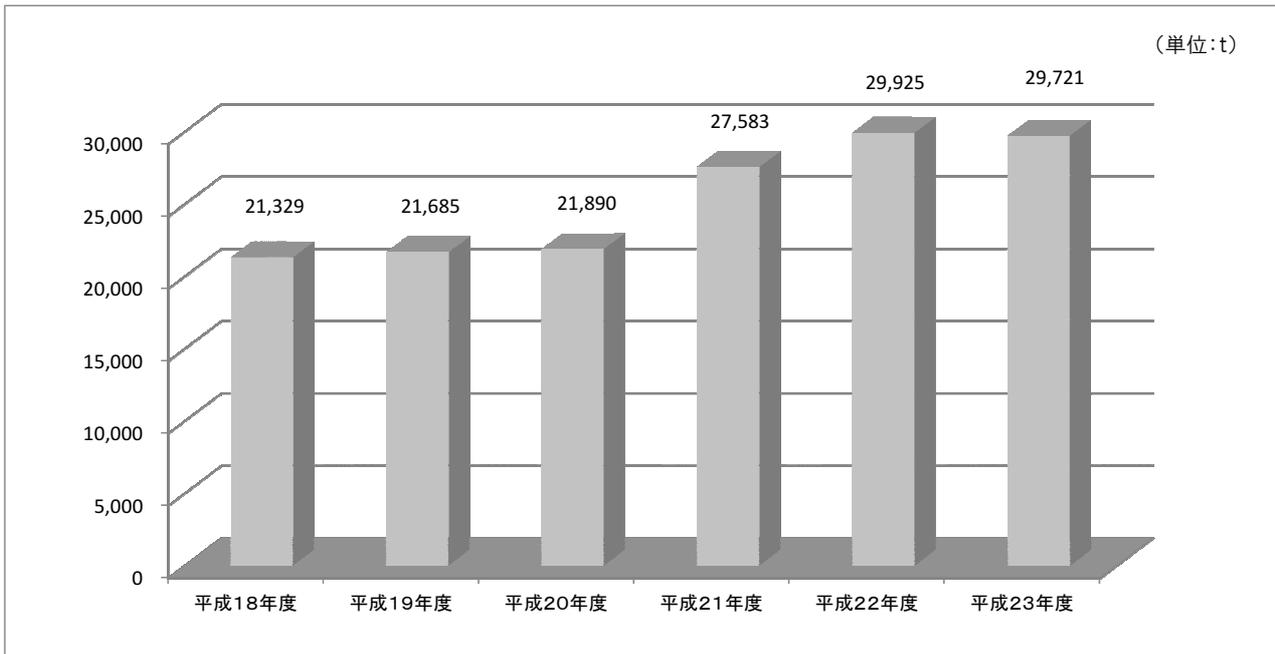
当該業務は、札幌市から別途発注された施設の運転業務、残さ運搬業務などの監督業務と、「容器包装リサイクル法」に基づく分別基準に適合するよう、選別・圧縮された容器包装プラスチック(ベール)の品質管理及び再商品化事業者等との調整と出荷業務が主体となっている。

平成23年度の容器包装プラスチック受入量は、計画量30,500tに対し29,721tで、前年度に比べ0.7%の減少となった。また、選別後に圧縮梱包されて再商品化事業者等に引き渡された量は、計画量27,600tに対し25,818tで前年度に比べ2.0%の減少となった。

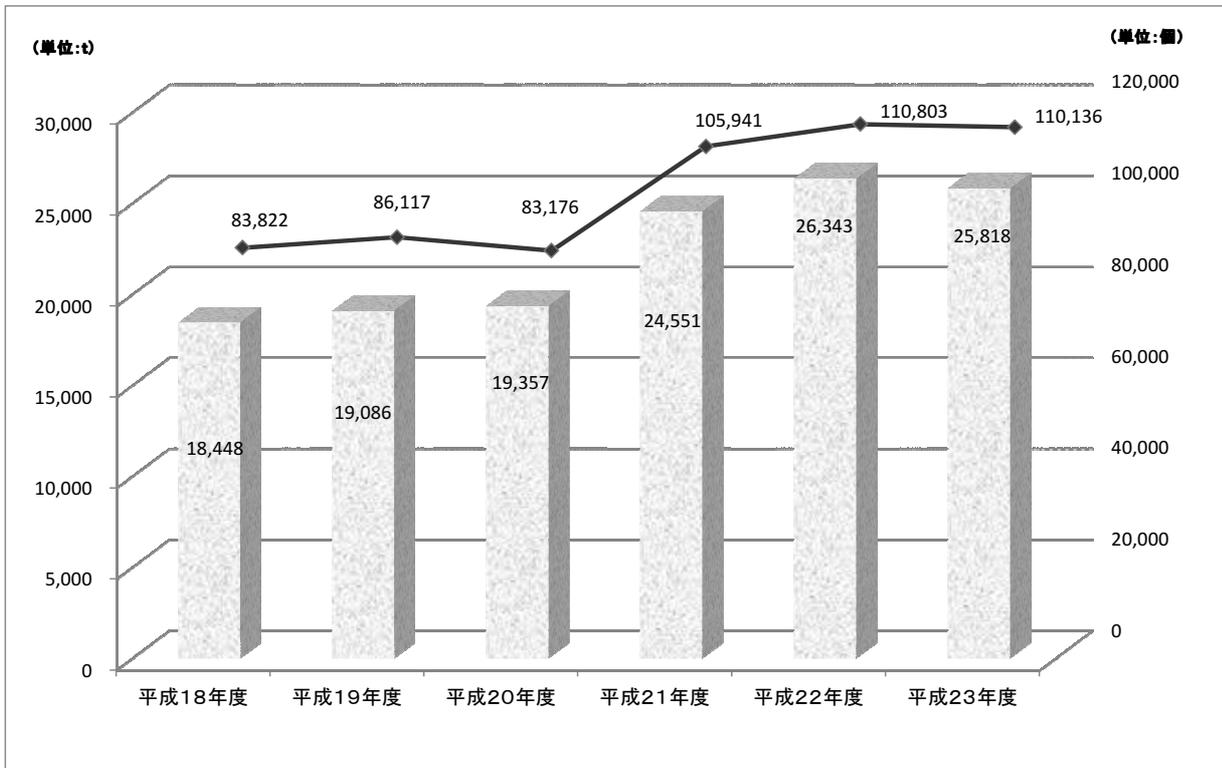
【表3-5 平成23年度 中沼プラスチック選別センター処理実績表】

	運転 日数 (日)	受入量 (t)	容器包装プラスチック(ベール)		残さ等搬出量		
			引渡量(t)	引渡数(個)	可燃(t)	不燃(t)	ペットボトル(t)
4月	23	2,360	2,006	8,600	41	23	4
5月	24	2,497	2,226	9,204	41	24	5
6月	24	2,511	2,186	8,852	72	21	5
7月	23	2,359	2,091	8,186	77	18	5
8月	25	2,577	2,311	9,190	77	22	5
9月	24	2,368	2,068	8,430	75	20	5
10月	24	2,283	2,098	8,912	79	21	4
11月	24	2,478	2,125	9,384	46	23	5
12月	24	2,677	2,289	10,468	47	28	5
1月	22	2,737	2,232	10,048	42	31	5
2月	23	2,428	1,924	8,846	71	22	5
3月	24	2,446	2,262	10,016	89	24	5
合計	284	29,721	25,818	110,136	757	277	58

《グラフ 3-2 年度別容器包装プラスチックごみ受入量》



《グラフ 3-3 年度別ペール搬出量》



③ 中沼雑がみ選別センター施設管理事業 (決算額 12,689,713 円)

平成21年7月より、札幌市から「中沼雑がみ選別センター施設管理業務」を受託し実施した。

当該業務は、札幌市から別途発注された施設の運転業務、残さ運搬業務及び手選別業務などの監督業務と、分別基準に適合するよう圧縮・梱包された主要古紙(Aベール)と雑がみ(Bベール)の品質管理及び再商品化事業者との調整と出荷業務が主体となっている。

なお、不適物を取り除く「手選別業務」については、知的障がい者の雇用を促進するために札幌市が福祉団体に業務を委託している。

平成23年度の雑がみ受入量は、計画量22,000tに対し13,696tで、前年度に比べ36.4%の大幅な減少となった。これは、新聞・雑誌・ダンボール等を収集対象から除外したためである。また、選別後に圧縮梱包された主要古紙(Aベール)983t(計画量:1,900t)と雑がみ(Bベール)10,069t(計画量:16,800t)を再商品化事業者に引き渡した。

【表3-6 平成23年度 中沼雑がみ選別センター処理実績表】

	運転 日数 (日)	受入量 (t)	ベール引渡 量						残さ 搬出量 (t)
			主要古紙(Aベール)		雑がみ(Bベール)		合 計		
			重量(t)	個数(個)	重量(t)	個数(個)	重量(t)	個数(個)	
4月	25	1,181	143	176	1,161	1,100	1,304	1,276	283
5月	24	1,038	78	88	754	684	832	772	184
6月	24	1,058	59	66	772	703	831	769	190
7月	23	976	62	62	701	627	763	689	203
8月	25	1,130	98	100	759	684	857	784	230
9月	24	1,055	78	80	751	684	829	764	226
10月	24	996	76	80	710	646	786	726	213
11月	24	1,061	74	80	735	665	809	745	212
12月	25	1,392	72	84	919	836	991	920	241
1月	24	1,570	89	105	1,260	1,178	1,349	1,283	320
2月	23	1,058	76	87	666	608	742	695	166
3月	24	1,181	78	88	881	817	959	905	230
合計	289	13,696	983	1,096	10,069	9,232	11,052	10,328	2,698

④ 札幌市リサイクル団地管理事業（決算額 15,189,509 円）

札幌市から「札幌市リサイクル団地管理業務」を受託し実施した。

札幌市リサイクル団地は、廃棄物の減量・リサイクルを総合的に推進するモデル的な廃棄物の処理施設群で、団地の基盤整備については、札幌市が平成6年から平成8年にかけて行い、処理施設の建設・運営は、民間処理業者、第三セクター及び札幌市の3事業主体がそれぞれ行っている。

i) 業務内容

- ア リサイクル団地の連絡調整・見学対応等業務
- イ リサイクル資料館・ふれあいホールの維持管理業務
- ウ 井水供給設備の維持管理業務
- エ リサイクル団地内市道の点検、清掃、除排雪業務
- オ その他管理業務

ii) 見学者実績

平成23年度のリサイクル団地の見学者実績は、見学件数109件、見学者数3,710人であった。

【表3-7 平成23年度 リサイクル団地見学者実績】

	見学件数	見学者数
4月	3件	58人
5月	3件	53人
6月	23件	1,204人
7月	11件	328人
8月	9件	208人
9月	24件	785人
10月	21件	811人
11月	10件	175人
12月	3件	54人
1月	1件	3人
2月	0件	0人
3月	1件	31人
合計	109件	3,710人

(4) 大型ごみ収集センター管理運営事業 (決算額 17,535,538 円)

札幌市の大型ごみは、平成9年10月からそれまでのステーション方式から電話申込による戸別収集に切り替え、平成10年1月から有料制を導入した。

当社は、平成11年4月から大型ごみ収集センターの管理運営業務を札幌市より受託し実施している。

① 業務内容

大型ごみ、リサイクル品の収集受付及び収集作業を円滑実施するための総括調整

- i) 札幌市及び電話受付業務受託者との連絡調整
- ii) 収集車両台数の調整、未収集物に係る連絡調整
- iii) 電話受付業務受託者が回答困難な苦情・問い合わせ等への対応

② 平成23年度実績

- i) 収 集 量                      10,852 t    (計分量: 9,800 t)
- ii) 受付件数                    476,680 件 (計分量: 443,000 件)
- iii) 収集件数                   315,768 件 (計分量: 293,000 件)
- iv) 収集個数                   756,591 個 (計分量: 677,000 個)

【表3-8 平成23年度 業務実績】

	収集量(t)	受付件数	収集件数	収集個数
4月	1,077	47,088	31,586	77,414
5月	911	44,645	26,117	64,863
6月	1,062	43,924	31,864	77,424
7月	980	44,057	29,244	69,513
8月	955	43,637	28,159	67,813
9月	982	41,369	28,408	68,053
10月	967	46,920	28,848	68,679
11月	1,049	44,185	30,821	74,276
12月	874	36,300	26,497	58,841
1月	460	22,570	13,862	28,832
2月	557	22,834	15,182	34,787
3月	978	39,151	25,180	66,096
合計	10,852	476,680	315,768	756,591

【表3-9 収集品目大分類内訳】

大 分 類	個 数	割 合
電気・ガス・石油・ちゅう房機器	101,419	13.4 %
家具・寝具・建具	432,125	57.1 %
趣味・スポーツ・レジャー用品	52,722	7.0 %
その他	170,325	22.5 %
計	756,591	100.0 %

【表3-10 主な収集品目(上位10品目)】

順位	品 目	個 数	割 合
1	椅子	97,437	12.9 %
2	布団	70,820	9.4 %
3	衣装箱	63,269	8.4 %
4	自転車	34,179	4.5 %
5	カーペット	33,826	4.5 %
6	テーブル	33,260	4.4 %
7	スキー用具	25,853	3.4 %
8	ベッド	20,077	2.7 %
9	ストーブ	18,991	2.5 %
10	作業用具類	16,867	2.2 %

## 4 事業系ごみ収集運搬事業 (決算額 5,575,640,552円)

事業系ごみの収集運搬事業は、全市域における事業系ごみの減量・リサイクルの推進を効率的かつ安定的に進めるために、平成6年4月より当社が一元的に実施しており、これまでの総合的な取組みにより、平成23年度のごみ総収集量に対するリサイクルごみ収集量で算出するリサイクル率は24.4%となっている。

平成23年度の伝票収集による契約件数は9,742件、プリペイド袋収集による平成23年度末の契約件数は21,863件となっている。

### (1) ごみ収集量について

#### ① 総収集量

重量ベースで167,915 tと前年度167,941 tとほぼ同様の収集量であり、容積ベースでは、1,066,990 m<sup>3</sup>と前年度1,088,914 m<sup>3</sup>に対して2%の減少となっている。

#### ② 廃棄ごみ収集量（一般ごみ・可燃用プリペイド袋等を含む）

重量ベースで126,877 tと前年度の128,838 tに対して1.5%の減少となっている。

#### ③ リサイクルごみ収集量

##### i) 資源化ごみ（紙くず類等を含む）

RDFの原料としてごみ資源化工場でリサイクルが行われた。

重量ベースで11,580 tと前年度の12,203 tに対して5.1%の減少となっている。

##### ii) 生ごみ

飼料化リサイクルセンター、石狩市の生ごみリサイクル施設及び平成23年度より新たに稼働した定山溪の生ごみリサイクル施設へ搬入し、それぞれ飼料や堆肥の原料としてリサイクルが行われた。

また、札幌市教育委員会の「さっぽろ学校給食フードリサイクル」への協力のため、遠隔地を除く市内の小中学校全校で生ごみリサイクルを実施した。

重量ベースで25,072 tと前年度22,389 tに対して12%の増加となっている。

##### iii) 不燃用プリペイド袋の選別（少量排出事業所）

不燃用プリペイド袋内に混入している、びん・缶・ペットボトル等の再生可能な資源物を篠路資源化センターで簡易な手選別を実施し、リサイクルが行われた。

重量ベースで2,424 tと前年度2,441 tに対して0.7%の減少となっている。

##### iv) 剪定枝

学校等から発生する剪定枝を篠路資源化センター内にある剪定枝等処理施設へ搬入し、堆肥や敷き藁にリサイクルが行われた。

重量ベースで118 tと前年度95 tに対して24.2%の増加となっている。

##### v) びん、缶、ペットボトル

中沼資源選別センター及び駒岡資源選別センターに搬入し、リサイクルが行われた。

重量ベースで1,844 tと前年度1,975 tに対して6.6%の減少となっている。

#### ④ 家庭系パソコンのリサイクルは、パソコン本体等215台、ブラウン管ディスプレイ等73台の合計288台であった。

【表4-1 平成23年度 収集量（重量）】

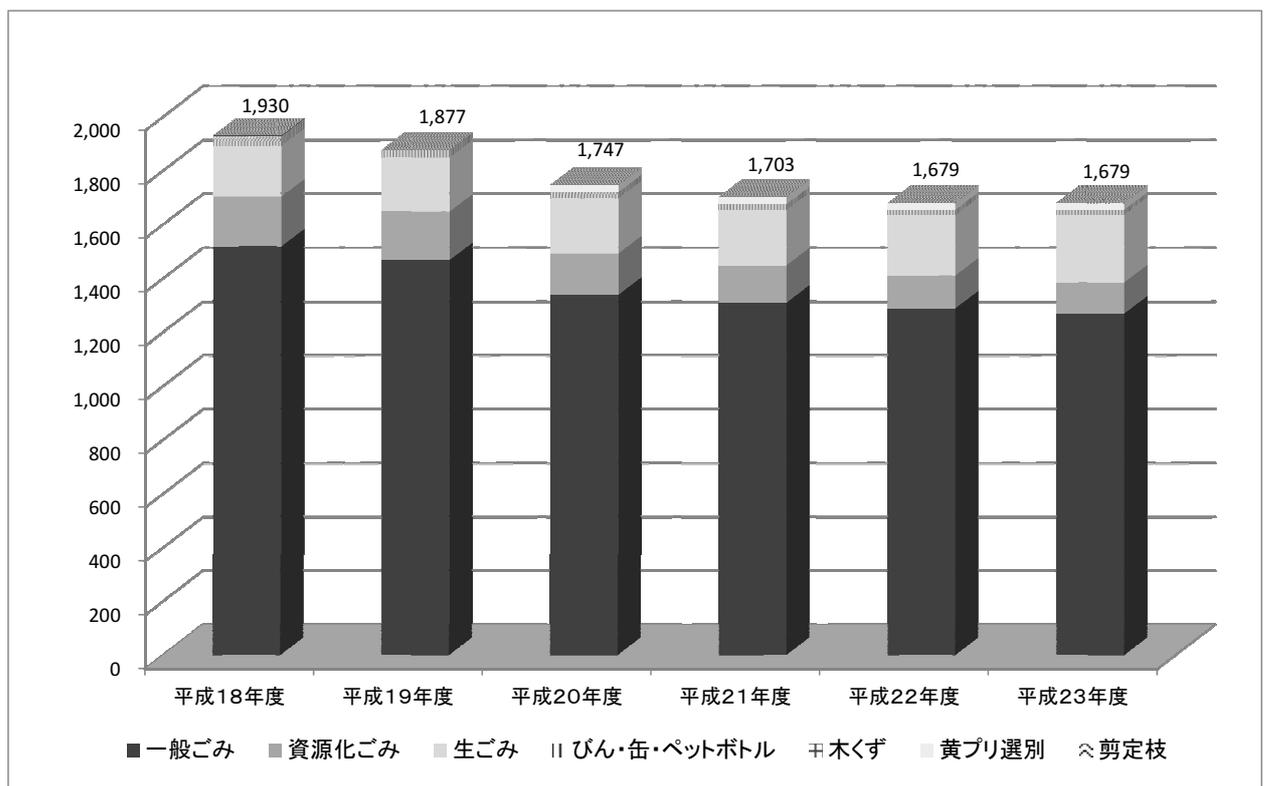
（単位：t）

	総重量 (t)	内 訳					
		一般ごみ	資源化ごみ	生ごみ	黄プリア選別	剪定枝	びん・缶・ペットボトル
4月	13,472	10,164	1,105	1,843	207	8	145
5月	13,896	10,475	882	2,171	195	23	150
6月	14,037	10,483	930	2,250	206	14	154
7月	14,327	11,078	930	1,936	197	23	163
8月	15,020	11,345	908	2,360	213	7	187
9月	14,237	10,863	896	2,107	198	10	163
10月	14,102	10,640	921	2,189	187	15	150
11月	13,851	10,395	909	2,189	201	12	145
12月	15,037	11,303	1,136	2,193	234	6	165
1月	12,988	9,981	878	1,793	195	0	141
2月	12,898	9,700	919	1,956	188	0	135
3月	14,050	10,450	1,166	2,085	203	0	146
合 計	167,915	126,877	11,580	25,072	2,424	118	1,844
平 均	13,993	10,573	965	2,089	202	10	154

※生ごみは平成9年度から収集開始

《グラフ4-1 収集量（重量）の推移》

（単位：百t）



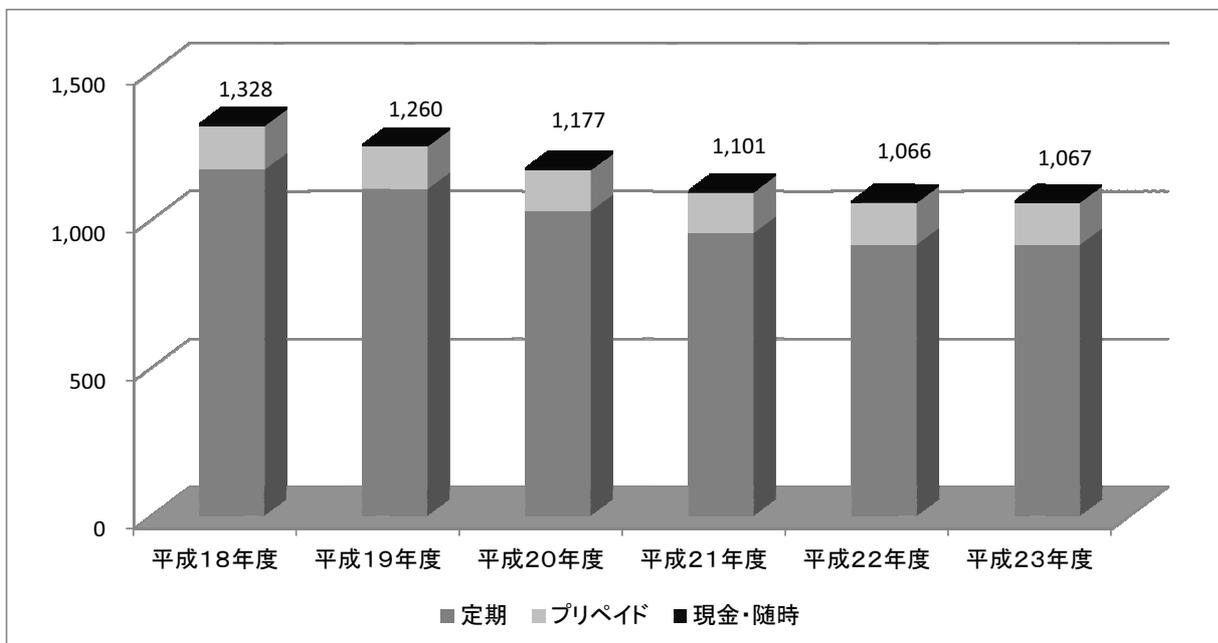
【表4-2 平成23年度 排出先別件数と収集量（容積）】

(単位：m<sup>3</sup>)

	定 期		随 時		現 金		引 越 等		プ リ ペ イ ド 袋		合 計	
	件 数	収 集 量	件 数	収 集 量	件 数	収 集 量	件 数	収 集 量	件 数	収 集 量	件 数	収 集 量
4月	9,319	75,695	82	208	137	140	64	213	21,984	11,756	31,586	88,012
5月	9,312	75,608	98	334	129	144	52	181	22,011	11,381	31,602	87,648
6月	9,328	76,036	109	980	111	102	53	117	22,040	11,825	31,641	89,060
7月	9,310	77,117	127	1,019	135	151	49	108	22,114	11,881	31,735	90,276
8月	9,322	80,122	112	699	205	241	44	137	22,170	12,548	31,853	93,747
9月	9,299	76,451	116	713	163	246	44	129	22,221	11,906	31,843	89,445
10月	9,284	78,386	104	484	102	156	49	171	22,270	11,719	31,809	90,916
11月	9,273	76,765	112	460	124	252	56	219	22,295	11,676	31,860	89,372
12月	9,284	81,558	84	350	132	111	53	236	21,958	12,913	31,511	95,168
1月	9,221	69,561	84	278	76	61	25	97	21,910	10,778	31,316	80,775
2月	9,230	70,990	84	368	90	64	26	95	21,870	10,834	31,300	82,351
3月	9,247	77,441	117	408	141	130	62	93	21,863	12,148	31,430	90,220
合 計	111,429	915,730	1,229	6,301	1,545	1,798	577	1,796		141,365		1,066,990
平 均	9,286	76,311	102	525	129	150	48	150		11,780		88,916

《グラフ4-2 収集量（容積）の推移》

(単位：万m<sup>3</sup>)



(2) ごみ重量計量システムの実証試験（再掲）

架装メーカー2社（富士重工/JFEアドバンテック、新明和/大和製衡）の「重量計量システム」と当公社で使用している「事業者管理システム」とのデータを連結させるための携帯端末のシステム開発及び通信試験を実施した。

(3) プリペイド袋の販売

少量排出事業所向けに、収集運搬・処分料金を含んだプリペイド方式のごみ袋の販売を行っている。

平成23年度の販売数は355,057セットと昨年度実績340,505セットに対して4.3%増加した。

【表4-3 平成23年度 プリペイド袋販売実績】

(単位：セット)

販売店	販売数(セット)	備考
市民生協	34,300	26店舗
セイコーマート	186,670	290店舗
すずらん物産	57,160	—————
市庁舎販売店等	6,229	12店舗
商店街組合等	5,020	7団体
宅配	60,380	佐川急便
公社直販	5,298	営業社員持参等
計	355,057	

【表4-4 年度別 種類別プリペイド袋販売実績】

(単位：セット)

	20 <sup>リットル</sup>	40 <sup>リットル</sup>		総販売数
	可燃	可燃	不燃	
平成23年度	10,721	276,166	68,170	355,057
平成22年度	9,477	265,960	65,068	340,505
平成21年度	7,809	215,779	56,929	280,517
平成20年度	8,457	337,878	91,682	438,017
平成19年度	4,679	289,275	61,809	355,763
平成18年度	4,445	238,951	50,382	293,778